

平成29年度 浦和麗明高等学校 学校自己評価シート

学校目標		建学の精神である「みんなから愛され、信頼される人」「社会に役立つ人」「勤労を尊び前進する人」を育てることを探求する				達成度		
本年度の目標		(1) 教育理念及び教育方針の徹底	(2) 基本的マナーの習得と生徒指導の徹底	(3) 進学実績と進学率の向上	(4) 安心・安全な教育環境の整備	(5) 「六つの生徒指導心得」の徹底	(6) コミュニケーション力の向上	
評価項目	現状	具体的な方策	評価指標	経過・達成状況等	達成度	次年度の課題と改善策	学校関係者評価 実施日 平成30年5月29日 学校関係者からの 意見・要請・評価等	
1	<p>教務</p> <p>1 教員授業力強化の取組み</p> <p>2 教育環境の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒により予習、復習に対しての姿勢に差が見られる。 ・入試基準を上げたため、学習能力及び意欲の高い生徒が増えている。 ・新体育館が9月に完成するまでは不自由な面があるが、創意工夫で乗り越えたい ・不審者対応として監視カメラの増加、機軸向上が見込まれる。 ・災害対策においては、さらなる意識の共有化、備蓄品の充実が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の底上げ ・生徒の関心をひくような授業の組み立て ・予習復習の意義の徹底 ・教科指導部との連携により、ｽﾀﾃﾞｻﾞﾘ、DMM英会話を有意義に活用する ・定期点検による現状把握 ・日々の施設、備品安全管理点検 ・避難訓練の実施 ・災害時の非常食確保 ・救急救命講習の実施 ・節電の奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着 ・教科への興味、意欲の向上 ・学習習慣の定着 ・授業満足度の向上 ・授業力の向上 ・試験前夜の学習習慣の定着 ・防災対策（備蓄品を含む）の確保 ・環境衛生面の安全の確保 ・美観等の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリが定着しつつあり、学力向上が期待できる ・定期試験前夜教員に質問する生徒が増え、学習への意欲の向上が感じられる。 ・火災報知機、非常放送、消火設備、汚水水槽の定期点検の実施 ・校舎施設、備品の安全点検の実施 ・空室、照明、照度、飲料水の定期点検の実施 ・新体育館の完成 ・災害対策備蓄品の確保 ・通報連絡および防災意識の徹底 救急救命講習の実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・45分授業になることに伴う授業時間の確保 ・学力の高い生徒に対する授業力の向上 ・成績入力不備をなくするための指導徹底 ・新体育館の使用における高さ・注意 ・1,2号館改築に伴う、夏期休暇中の使用教室の配分 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力が向上しているのは良いことだと思うが、成績重視ではなく今までの「面倒見のよい学校」の伝統は維持し続けてほしい ・男子の入学より、部活動をはじめとする施設面で一層の充実を期待する。
2	<p>進路指導</p> <p>2 進路指導の充実</p>	<p>3年生は学科コースの編成上、進学系と実学系の生徒では目標先（進学先）も多様である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療系の大学（特科看護）を希望する生徒が増加している。 ・大学・短大現役進学率の向上を目指している。 ・上位大学の合格数の増加については5カ年計画で進んでいる。 ・保育進学コースの90%以上は大学・短大を希望している。 ・進学に伴い就職希望者が減少している。 ・大学進学が増加による推薦、AO対策の必要性が今度より求められる。 ・保護者の大学進学への意識が高まってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学校への転校について、教員意識の向上を図る。 ・各学年会における目標値の設定 ・目標値における中期の検証と対策 ・的確な研修の開催、進学イベントの実施 ・1年生は「職業を知る」2年生は「学びの分野を知る」をテーマに生徒の視野を広げるための進路指導を推進する。 ・3年間で10回の面談を実施。 ・受験指導の徹底 ・教科指導部との連携を推進 ・すべての生徒を見捨てない、大事にする指導の徹底。 ・進先との連携強化 ・データ関係の構築 ・保護者への対応（面談、説明会等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内独自の目標値を設定する。 ・目標一最大達成可能目標 ・目標一最低達成可能目標 ・3年大学・短大現役進学率 A目標 50%、B目標 42.9% ・2年大学・短大希望者目標値 A目標 60%、B目標 50% ・1年大学・短大希望者目標値 A目標 70%、B目標 60% ・特選の進路状況 ・専門学校合格状況 ・就職状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の大学・短大現役進学率については、60.3%であり、最大目標の50%を大幅に超えることができた。(27年度42.8%) ・2年生において大学・短大希望者目標値については、A目標に届かず68.6%となっている。決め手となる保育進学コースが課題あり次年度対処していく。 ・1年生において大学・短大希望者目標値については、A目標に届かず69.9%となっている。今後も継続指導を行う。 ・3年の特選を中心とした上位大学については、長野大学名、創価公立大学2名の国公立大学合格。私立は立教大学、学習院大学、東京薬科大学2名、武蔵大学、獨協大学4名、東京女子医科大学2名、帝京大学20名等の合格実績をあげた。 ※MARCH・成成順理レベル目標30名 → 16名合格 ※日東東専・大東亜帝国レベル目標40名 → 52名合格 ・就職希望者18名全員合格 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・上位層層等に向けた広範囲活動の実施（進路指導実績と将来計画への期待値の向上） ・放課後の一般進路講座の希望者増をはかる。 ・小論文指導教員研修によるスキル向上。 ・推薦、AO指導の徹底。上位大学への合格を目指す。 ・3年間で10回の担任面談を実施（面談シラバス・面談準備シートによる公平な面談を実施） ・進路情報センターとしての役割を強化（受験校診断表、受験結果入力システムの構築） ・各種勧誘、各種行事の推進 ・進学校への教員意識改革の推進 ・次年度目標 大学・短大の進学率の最大目標は65%、早慶上理5名、MARCH・成成順理レベル40名、日東東専・大東亜帝国レベル55名 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職に関わらず、決め細やかな進路指導は評価できる。 ・卒業生による講演も在校生にとって有意義ではないか。 ・就職者の「希望者全員合格」には、非正規も含まれているのか。
3	<p>生徒指導</p> <p>3 生徒指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気のある挨拶をする生徒が増加しているが、まだ挨拶行為に抵抗感を示す生徒が見受けられる。 ・規範意識や交通安全に対する意識が希薄な生徒が若干見受けられる。 ・遅刻者に関しては5分前登校の意識が若干低い生徒がいるものの、全体的には時間厳守を積極的に守ろうとする生徒の割合は高い。 ・学校生活を意欲的に送ることのできる生徒は減ってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒通学用として、生徒会等代表者による挨拶運動を行い、生徒間の挨拶の活性化と習慣づけを図る。 ・全職員による積極的な交際、廊下での挨拶の徹底、外部からの来客者に対し、生徒からの自然な挨拶の徹底。 ・玄関と教室での進路者の二重チェック。遅刻率0.3%（40人学級で2人/月）の目標値を徹底させる。 ・生徒心得、夏休み心得を全校生徒に配布し、長期休暇中のLHRで指導。 ・1年生全員をクラブ活動に登録させ、継続的に活動させる。 ・通学路における要所においての交通安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席者の減少 ・問題行動の減少 ・活気のある学校生活 ・頭髪部表等違反者の減少 ・進学者の減少 ・自転車通学違反者の根絶 ・交通ルールの遵守 ・課外活動の活性化 ・通学路の環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒代表者による挨拶運動などこちら側からの働きかけにより、登校時の玄関（生徒通学用）での挨拶が増加してきた。 ・遅刻率1年0.3% 2年0.2% 3年0.5%となった。 ・学期ごとに打ちあわせた全体の頭髪等風紀指導等により全体の割合は落ちてきている。 ・警察、交通安全指導と連携をとり講師を依頼して薬物酒防止 ・交通安全指導を取り入れている。 ・専任カウンセラーによる精神的ケアにも力を入れている。 ・自転車マナーアップの推進校としての意識の向上を図っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・担任による生徒指導の徹底及び学年主任との連携を図る。 ・8時30分（始業5分前）登校の徹底 ・登下校時、校舎内ならびに来校者に対する挨拶の徹底を図る。 ・遅刻、欠席者の現状把握と共に早期指導に重点を置き、問題行動や進学者の抑止や防止に努める。 ・友人関係の変化にも着目し、二重面談の徹底、いじめの未然防止に積極的に取り組む。 ・学校行事、課外活動に参加を促し、活気ある学校とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女子高時代の生徒指導が維持され、高校生としての清潔感のある服装を望む。 ・男子対応の状況およびその指導もしっかりとお願いしたい。
4	<p>教科指導</p> <p>4 教科指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の小テストを徹底して行い、基礎学力を定着させる。 ・「スタディサプリ」と連動した授業を展開し、効率良く受験対策を行う。 ・予備試験による模範対策を意識した「土曜補習」を充実させる。 ・長期休暇講習の充実と参加人数の増加を図る。 ・到達度テストと連動した「スタディサプリ」の課題学習を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各模範試験の途中経過（前年比と前回比）を定点観測する。 ・最終的な大学合格実績 ・各種検定の受験者数と合格者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・特選/特進コースもそれ以外のコースも大学合格状況は年々良くなってきている。 ・模範試験に関しては、年々全体的に良くなっており、特に成績上位者が増加している。 ・英検2級・準2級の合格者が増加している。 ・スタディサプリと連動した授業もよければ積極的に実施できた。 ・長期休暇講習については特選/特進以外のコースの参加者も、年々増加している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部と連携し、大学進学合格状況が更に良くなるようにする。 ・進路意識を高めるため、総合学習の時間を更に充実させる。 ・平成33年度から実施される共通テストに対応する力を養う。 ・2年生から導入するDMM英会話を最大限活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリ、DMM英会話等、学力向上のための対策が期待する。 ・1年生より導入がはじまるタブレットの有効活用を期待する。 	
5	<p>広報</p> <p>5 広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者232人 定員320人に達していない ・特選 21、特進I類13、特進II類23 ・進学A28、進学79、保育進40、調理師(特選)28 ・単願入学者139人 併願入学者5人 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学校、共学イメージ作り 新校舎・新体育館、新制服 ・コース再編 特選I・II類、特進I・II類、進学、保育進 ・男子学生確保のため ・男子部活動参加、練習日程を速やかに伝達 ・学内イベント ・説明会、個別相談会同日開催：第3週（北辰結果が出る週）体験入学：10・11月実施（公立進学者対策、中学・塾生面談後、初めて併願受験生対象生対策策） ・個別相談会：①北辰の結果が出る週は午前中開催。その後、午後の学校説明会 ②12月は、個別相談会単独開催 ・塾訪問強化 塾長と直接話す時間（17時前）に1週間特選・特進コース受験者を増やす ・地域個別相談会18ヶ所で行った共学伝達 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数 ・男子生徒の割合 ・学内イベント参加数・相談件数 ・個別受験数・入学者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数 462人（特選I類35、II類40、特進I類40、特進II類39人、進学165人、保育進43人） ・大学入試が変わる学年のため、より明確な入試対策を希望する生徒への研修強化を図る。 ・男子4.8割・女子5.1割（男子226人、女子236人） ・初年度共学募集としては、男子入学率が昨年より高かった。部活動参加からの一連の方策が功を奏した。 ・学内イベント参加数5182人 相談件数3752人 ・特に、北辰結果が出る週の参加者が増加した。 ・塾からのコース別受験者数・入学者数が変化し、特選・特進コース入学者が増えた。 ・地域個別相談会の総相談者数18ヶ所の案2倍と増えたが、地域によっては受験者数・入学者数が減った 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度募集コース 特選I類・II類、III類、特進I類・II類、III類 ・ターゲットにあった情報発信：大学入試改革に対応のための各教科の取り組み、進路指導と教科指導の連携、高大連携などをよりわかりやすくスピーディに発信する ・塾訪問強化：入学者増加地区の訪問を特に強化。各担当が質問する中学校数を減らし、塾訪問の時間を確保。 ・学内イベントの工夫：北辰結果が出る週、一日学校説明会と個別相談会を並行実施。 ・地域個別相談会：13ヶ所で開催。負担の少ない効率の良い募集活動を行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学定員を超えて入学者を入れた現状においても、教育内容を維持してほしい。 ・他校の学校説明会と比べて、生徒一人ひとりに目を向けた面倒見の良さを感じた。